

□ 要請番号 (JL00917A05)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
マレーシア	C106 きのこと栽培		個別	交替 3代目	2年	・ 2017/3 ・ 2017/4 ・ 2018/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

サバ州農業・食糧省

2) 配属機関名 (日本語)

地域開発公社ボルネオマッシュルーム

3) 任地 (サバ州クンダサン) JICA事務所の所在地 (クアラルンプール)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (飛行機+バスで 約 7.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先はサバ州の政府の機関の一つで、低所得農民の収入向上を目的に養蜂、養鶏、バニラ栽培、きのこ栽培等のプロジェクトを実施している。きのこ栽培は冷涼な気候を利用し、1989年に台湾の技術支援によりプロジェクトを開始、その後中国から霊芝種菌提供、韓国からの協力を受けていたが、現在はJICAのみ協力をしている。現在約200戸の農家に対し、菌床の配布、生産されたシイタケの集荷・販売、農家への栽培技術の指導を実施している。現在、JVが活動中である。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

ボルネオマッシュルームでは約200戸の農家に、農家一戸当たり年間6000個のシイタケ菌床を配布している。菌床生産の過程で雑菌が混入し廃棄処分となる菌床が3割あり、生産効率低下の原因となっている。また、シイタケ菌床は約1.3kgの大きさがあるが、一つの菌床からの生産量は約150gとかなり少ない。現隊員は害菌の汚染率低減のためのエタノール使用、また収量増のための浸水の導入に向けた試験を行っている。配属先の職員は実務経験はあるが、専門的な知識が無い為、業務の改善ができない。また、マレーシアにはキノコ栽培の研究機関が無く、外部から助言や指導を受けることが難しいためJICAボランティアからの助言指導には大きな期待が寄せられ、今回のボランティア要請となった。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 菌床の殺菌から菌の植付までの過程を見直し、害菌汚染率の低減を図る。
- シイタケの生産性向上のため、栽培農家に対する栽培方法の改良指導を行う。
- 主にシイタケの新規栽培方法の試験
- 野生および市場等の菌株の調査・試験
- 菌床の培地添加物に関する試験。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

オートクレーブ、オーブン、含水分計、クリーンベンチ、顕微鏡、ECメーター、最高最低温度計

4) 配属先同僚及び活動対象者

カウンターパート:経験4年、専門は微生物学、女性、20代
作業員は23名、20-40代の男女。

5) 活動使用言語

マレー語

6) 生活使用言語

マレー語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（ ） 備考：

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（実務経験）5年以上 備考：一定の知識・経験が不可欠

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯雨林気候） 気温：（10～25℃位）

[電気]：（不安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（不安定）

【特記事項】